



学校通信 NO.9

## 校長室の窓から

檀原市立鴨公小学校 2026・1・23

☎ (22) 2364 Fax (22) 2224



### 読書してますか？



休み時間になると、子どもたちが数人のグループで、1枚の紙をもって廊下を歩き回っています。今、図書委員会が「本のクイズラリー」をしているからです。

校内のあちらこちらに本が置いてあり、そこにはその本に関するクイズが貼ってあります。紙に答えを書きながら、次のクイズの場所を探すのも楽しそうです。全部回って解けたら昼休みに図書室に持っていくと、図書委員手作りの賞品もあります。いろんなジャンルの本を置いて、少しでも本に親しんでくれたらと考えて活動してくれています。



本校の6年生が4月に行った全国学力・学習状況調査の児童質問調査の結果を見ると、読書が好きと答えている児童の割合は肯定回答が約68%。(県や全国の平均も同程度)これは例年に比べると少し高いぐらいなのですが、平日どれくらい読書をしますか？という問いには「10分以下」や「全くしない」という回答が50%近くに上ります。好きだけど読んでいない…その代わりに増えているのは、ゲームやスマホ、動画視聴の時間だろうと考えられます。

最近紙の本ではなく、電子図書の形で読書をしている児童もいると思います。私もかさばらないし、何冊も持ち歩けるので電子書籍を購入することが多くなりました。「この間読んだ本が面白かったよ」と友人に話すのですが、「電子図書だったら貸してもらえないやん。」と言われます。紙の本と違って、貸し借りしたり共有したりできなくて、その本について一緒に話したいのに、その友人にも何とかして手に入れてもらわないといけなくなります。

学校でも檀原市立図書館の電子図書がPCから読めるようにしていますが、図書室では「その本、次貸してな〜」と声をかけていたり、一緒に1冊の本をのぞき込んでいたりする姿を見るとやっぱり紙の本はいいなと思います。

来週の28日からは本校で図書ボランティアとして活動してもらっている地域の方が生活科室で「絵本のひろば」を開いてくださいます。300冊ほどの本を持ち込み、カーペット敷きの生活科室で自由な姿勢で本に親しめる環境を毎年作ってくださっています。

また、保護者の方で昼休み(12:50~13:15)に図書室で子どもたちに向けて読み聞かせボランティアをしてくださる方を募りたいと思っています。定期的でもいいし、不定期でもいいのですが、もしぜひやってみたいと思われる方がおられましたら、お知らせいただけたらと思います。子どもたちの読書活動充実のためによろしく願います。

来週 27 日 (火) は今年度最後の授業  
参観・学級懇談会です

本校は、ほぼ毎月ある「なかまの日の集会活動」も保護者の皆様に公開していますので、参観に来ていただく機会が他の学校よりかなり多いのですが、授業参観としては今回が最後となります。

どの学年も子どもたちの頑張りが見えるように、学習したことのまとめを発表できる場にしたいと準備に取り組んでいます。

参観の後には学級懇談会があります。年に 2 回しかない機会です。学級委員さんを中心にどうぞよろしく願いいたします。

(児童預かりいたしますので、ご希望の方は、必ず事前に担任までお知らせください。)

また来月 13 日には「鴨公祭」があります。全校の前で各学年ごとに発表してくれます。鴨公小学校伝統の学習発表会です。寒いですが、こちらの方もぜひお越しください。

全国学力学習状況調査結果から  
考える～体験することの大切さ～

今年度の学力学習状況調査の結果を見ると、例年より「国語が好き」「国語の勉強は大切」と答えた子どもたちの割合が高く、実際に正答率も少し上がり、何より記述式問題の無回答率が下がっていました。本校は人数も少ないため、その年によってかなり結果に差が出ますが、この学年は普段から自分の気持ちや考え、感じたことをしっかり書いている子どもたちが多い印象です。

一方、算数は「好き」「大切」の割合が低く、論理的に説明することに苦手さがみられました。問題を見ると、非常に生活に密着した課題を解決するために、どのような情報が分かればよいかを考え、解決方法を論理的に説明するというものなどがありました。

私たちは教科で学んだことが子どもたちの資質や能力の育成につながり、生きる力となっていくことを目指して日々教育に取り組んでいます。学んだ知識や技能が生活の中で活用できるものになってほしいのですが、そういう場面や機会がないと、なかなか自分のものになりません。

様々な体験は、そういう機会を与えることや、そのイメージを具体的にもつことで理解が深まること、実践活動の中で実感したり成就感や達成感を味わったりしながら自分の力になっていくことが期待されます。

そんなわけで、本校では児童の実態を踏まえながら、今年度もたくさんの体験活動に取り組んできました。学校での体験活動は学校ならではのものが多いのですが、日々の課題は生活の中にこそあります。お料理や掃除、洗濯や買い物、「衣食住」に子どもたちはどれだけ自分事として関わっているのでしょうか？ タイパが重視される世の中ですが、おうちの中でも子どもにたくさんの体験をさせてあげていただけたら、それが子どもたちの生きる力を育てていくと思います。



1 年生の教室前には絵馬がかかっています。4月の参観日の時には、大きな紙に自分の名前をひらがなで書いたものでした。あれから9か月。漢字も使ってしっかり書けるようになりました。

各教室の前には子どもたちの作品展示もしています。見てあげてくださいね。

